

令和元年度 第2回伊勢原市地域公共交通協議会 会議録

- 〔事務局〕 都市部都市政策課
- 〔開催日時〕 令和2年1月27日（月）午前10時00分から11時10分まで
- 〔開催場所〕 伊勢原市役所本庁舎3階 全員協議会室
- 〔出席者〕
- （委員） 藤井会長、宍戸副会長、落合委員、小川委員、古尾谷委員、大川委員、宮川委員、福永委員、市川委員、三橋委員、黒石委員、菊本委員
- （代理出席） 秋元委員（代理：小嶋委員）、齋藤委員（代理：露木委員）、宮本委員（代理：島崎委員）、小林委員（代理：露木委員）、山際委員（代理：栢本委員）
（小堤委員、後藤委員、小泉委員は欠席）
- （事務局） 重田都市部長、飯田参事兼課長、佐野主幹兼係長 他1名
- 〔公開の可否〕 公開
- 〔傍聴者〕 0名

《会議経過》

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 題
 - （1）令和元年度事業報告について
 - （2）地域公共交通網形成計画の進行管理について
- 4 そ の 他
- 5 閉 会

《 議 事 》

会 長 それでは、次第に従い、議事を進めます。

本日の議題は、

(1) 令和元年度事業報告について

(2) 地域公共交通網形成計画の進行管理について

2点となっています。

事務局から内容の説明を行い、その後、委員の皆様の御意見等をお聴きしていきたいと存じますのでよろしくお願いいたします。

それでは、

議題の(1) 令和元年度事業報告について事務局から説明をお願いします。

事 務 局

【説 明】

会 長 ありがとうございます。

今年度に開通する伊勢原大山インターチェンジ周辺地区のまちづくり、あるいは、国や交通事業者が中心となって取り組まれている、新しい動きに対して研究を進めてきた等の説明がありました。

それでは、皆さま方からただ今の説明に関しまして、何か御意見等がありましたら承りたいと思いますがいかがでしょうか。

委 員 東部第二地区について、約 1,300 人の就業人口を見込んでいるという説明でしたが、現在、その周辺を運行するバス路線との関係性については、どのようにお考えか確認させてください。

会 長 事務局、いかがでしょうか。

事 務 局 東部第二地区の周辺では、建築工事が完了した街区のすぐ西側の道路において、成瀬農協前バス停があり、愛甲石田駅と伊勢原駅行きの路線バスが運行しています。

また、愛甲石田駅南口から歌川産業スクエアを循環するバス路線があります。

東部第二地区の公共交通の利便性を向上させていくため、こうした既存の周辺バス路線の運行状況を踏まえながら、バス運行の望ましい姿について、バス事業者と情報交換を進めています。

委員 ありがとうございます。

下落合から東海大学病院や伊勢原協同病院に行く場合、一度、伊勢原駅に出る必要があります。

歌川循環バス路線は、大変便利ですが、1つの案として、愛甲石田駅から歌川産業スクエア、東部第二地区を通って、伊勢原市役所周辺までのバス路線があると、より使いやすいと思いますので、よろしくをお願いします。

会長 ご要望ということですね。

こうした企業誘致の場合には、立地される事業所等の就業の時間帯、昼夜交代制などの様々な業務形態が分からないと、移動手段をどう考えるか非常に難しいと思います。

現在、事務局と事業者で現状把握等の情報交換を行っているようなので、循環型にするのか等、持続可能なバス路線をしっかりと見極めていくことが非常に大事なところかと思えます。

その他はいかがですか。

本日の資料としてお配りいただいた「EMo t」の御説明をいただけますか。

委員 「EMo t」について、説明させていただきます。

「Ma a S」には、決まった定義がありませんが、エモーション（感動）とモビリティ（移動）を提供していくため、移動にいろいろな付加価値を付けていきたいと考えています。

資料の中に「いろいろなサービスの提供」とありますが、今回、箱根と新百合ヶ丘の2カ所で実証実験を行っています。

それぞれ交通事情が異なりますが、観光地である箱根には様々な移動サービスがあるため、それらを1つにまとめた「箱根フリーパス」があります。今月1月6日から、これを携帯やスマートフォンで購入することが可能と

なり、経路検索で付帯施設の情報も同時に提供しています。

また、昨年 10 月末から新百合ヶ丘にある商業施設で一定以上の買物をして頂くと、バスの往復料金が無料となるサービスを提供しています。

さらに、「飲食サブスクリプション」では、「箱根そば」や「HOKUO」などの飲食店を 1 カ月単位で定額利用できるサービスで、例えば、30 日間に 1 日 1 回 500 円相当を利用した場合、通常 1 万 5,000 円ぐらいになるところが、定額の 7,800 円で提供しています。

今のところ、8,000 件程度が「EMo t」に加入していただいているような状況で、今後、実用化していきたいと考えています。

会 長 こうしたスマートフォンなどの活用により、今後、私たちの生活も大きく変わってくるかもしれません。

こうしたものを利用していくことで、公共交通の利便性はさらに増していくものと思いますので、市民の方に公共交通は使わなければなくなってしまふものという思いを持って頂けるよう、考え方を共有していくことが大切だと思います。

その他、何か御質問などよろしいですか。

進捗状況としては順調であると思っておりますので、今後ますます取組を進めていって頂きたいと思っております。

会 長 それでは、議題の（２）地域公共交通網形成計画の進行管理について事務局から説明をお願いします。

事 務 局 【説 明】

会 長 議題（２）では、議題（１）で御報告いただいた内容について、地域公共交通網形成計画に沿って進捗しているか、進行管理シートに取りまとめ、PDCAサイクルを実施していくものです。

その中では、具体的なスケジュールが示されていない新市街地整備に関連する公共交通施策については、「B 概ね計画どおり」とし、それ以外に

については、「A 計画どおり」として評価が付いています。

提案のあった事務局案について、評価の妥当性や次年度の取組方針について、御意見等がありましたら承りたいと思いますがいかがでしょうか。

委員 施策1 関連ですが、来年度も引き続き、関係権利者との意見交換や合意形成を進めていくこととされていますが、市で想定している概ねのスケジュールなどについて、情報提供を頂きたいです。

会長 事務局、お願いします。

事務局 伊勢原駅北口再開発については、平成2年に都市計画を決定し、平成3年2月から、組合施行で事業に着手しています。

当時は、大型商業、ホテルなどを取り入れるような2棟のビルを計画していましたが、バブル崩壊とともにキーテナントの撤退等があり、実質、平成16年3月に休止状態となって、今現在に至ります。

その間、様々な整備手法の検討を行い、昨年度には、企業のヒアリングにおいて、商業、ホテルだけではなくて、近年の駅前のマンション需要の高まりを踏まえ、住宅の価格や戸数を鑑み、概ね事業が成立するのではないかという検証を実施しました。

今年度は、企業のヒアリングを増やし、より事業の成立性の精度を高めているところです。

会長 よろしいですか。

その他はいかがでしょうか。

委員 評価指標の伊勢原駅及び愛甲石田駅の1日平均駅利用者数は、両駅の合計でしょうか。分かれていた方が分かりやすいと思います。

会長 事務局、いかがでしょうか。

事務局 委員の御指摘のとおり両駅の合計数です。

次回からは、両駅それぞれの駅における乗客数についても、明示させて頂きたいと思います。

会 長 観光客が中心となる駅と、企業立地に伴って利用者の動向が変わる駅と、性格が変わってくる可能性がありますので、それぞれを分けて推移を見ていくことが良いことだと思います。

その他はいかがでしょうか。

委 員 高齢者の免許返納が増加傾向にあると思いますが、そうした免許返納者における「かなちゃん手形」の利用実態を把握されているのでしょうか。また、こうした「かなちゃん手形」やユニバーサルデザインタクシー等を市民に知られていない実態があると思います。パンフレット等を配布されているようですが、もう一工夫が必要だと思います。

会 長 事務局、いかがでしょうか。

事 務 局 1点目の免許返納者における「かなちゃん手形」の利用実態については、現状では把握できていません。今後、そうした利用実態を把握する方法があるかどうかも含めて検討課題とさせて頂きたいと思います。

2点目の公共交通の情報発信については、昨年度に作成したパンフレットで記載させて頂いております。

今年度を作成するパンフレットについては、御意見を踏まえて、広く市民に知って頂けるよう、配布方法などの工夫をしていきたいと考えています。

会 長 他市の事例では、免許返納時に警察署と市が連携し、免許返納者がどのようなサポートを受けることができるのかを一覧表にまとめ、配布しています。

情報の伝え方は、様々な手段があるため、今年度を作成するパンフレットが利用される方に届くように、再度、配布方法も含めて、広く届く仕組みを検討頂きたいと思います。

その他はいかがでしょうか。

委員 高齢者の免許返納は、確実に増えています。
免許返納を促しているところもありますが、買物や病院などの移動手段を理由に免許返納をためらってしまう方が非常に多いです。
実際に、自主返納者に対して、「かなちゃん手形」の話をしたことがありますが、知らないようでした。
今後、警察署と市が連携し、自主返納者に対してパンフレットを配布して情報発信を行っていくことを検討していきたいと思います。

会長 ありがとうございます。
関係機関が連携することで、利用者に向き合った公共交通サービスが提供できてくるかと思います。
その他はいかがですか。

委員 県内では、免許返納に伴う公共交通のサポートを愛川町と綾瀬市で実施されています。
愛川町では、免許返納者に対して、「かなちゃん手形」1年券の購入助成券と町内循環バスの乗車券50回分を支援しています。
綾瀬市でも同様に、市内循環バスの乗車券50回分を支援しています。
また、「かなちゃん手形」は65歳以上の方が利用できるということで、高齢者の外出支援という施策の一環として、厚木市や愛川町、清川村においては、「かなちゃん手形」の購入費の一部を助成していますので、こうした制度の検討もお願いしたいと思います。

会長 千葉県内の全市町村が免許返納者にどのようなサポートを行っているのかを一覧でまとめたという我孫子市の事例もありますが、公共交通でサポートするか、福祉施策としてサポートするか、いろいろな側面を踏まえて、移動支援の考え方を検討していく必要があります。
伊勢原市では、元々、コンパクトな都市形態となっており、また、タクシー事業者も1者にグループ化されたことで、電車、バス、タクシーの交通事業者が一体となって取り組んでいきやすい環境にありますので、それぞれの公共交通をシームレスに繋げていく方向性を含めて検討頂きたいと思います。
その他はいかがでしょうか。

委員 施策7の実施内容で、公共交通に関する研究会等を通じて、新たなモビリティサービスの取組事例等の研究とありますが、これは本協議会のことを指しているのでしょうか。

また、次年度の取組方針で、他都市の事例等の研究を進めていくとありますが、想定されている地域があれば教えてください。

事務局 公共交通に関する研究会等は、神奈川県が主体となって国、市町村、交通事業者などを構成員とする研究会等を立ち上げ、情報交換を行っています。こうした研究会等に積極的に参加し、その成果を伊勢原市の公共交通施策に生かしていきたいと考えています。

次年度の取組方針については、こうした研究会等に加え、各交通事業者の先進的な取組など、神奈川県外の事例についても伊勢原市に応用できるようなものがないか、御指導頂きたいと考えています。

会長 AIデマンドタクシーや自動運転、スローモビリティなど、様々な取組事例がありますが、コンパクトな市街地の伊勢原市の中で、どのような地域のニーズがあるのか、観光客と生活利用者の組み分けなど、どのエリアのどのような人達に対して、どのようなサービスを提供していくのか、精査が必要になると思います。

他都市の事例をそのままもってきても成功するわけではないので、地域の利用者の声を聞いた中でシミュレーションを行い、本当に利用者に向き合ったものを導入しなければ、持続可能な公共交通にはなり得ません。

そのためには、様々な情報を、これからも国や県、交通事業者で取り組まれている内容等についても、事務局に御紹介いただきながら、新たな伊勢原市の姿に繋がるような仕組みを皆さまで一緒に考えていければ良いかと思えます。

その他はいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、最後にこの評価や来年度の取組方針が妥当かどうか確認させてください。

委員

【異議なしの声】

会長 ありがとうございます。

異議なしということで、来年度の取組方針に基づき、取組を進めていって
もらいたいと思います。

その他、特にないようでしたら、進行を事務局へお返ししたいと思います。
皆様の御協力で議事進行を円滑に進めることができました。ありがとうございました。

閉会